

「白い森の国おぐに」森づくり活動の取り組みについて

小国町は、全国有数の豪雪地帯であり、「ブナの森」をはじめ、町全体を覆い尽くすように落葉広葉樹林が広がっています。この豊穡の森の象徴であるブナの樹肌と、冬に降り積もる雪から連想される「白」。小国町では町全体を「白い森」と呼び、そこで培われてきた先人の技術と知恵である「ぶな文化」を基軸に町づくりを進めています。

今年度、小国町では、山形県みどり環境交付金を活用して様々な体験活動を開催し、次代を担う子ども達をはじめ多くの住民を対象に、森林や農林業への理解と促進を目的とした事業を展開しています。

生涯学習講座開設事業

【白い森子ども体験教室】

小学生を対象に、町内に生息する生物の観察や森林散策を通じて、森林環境やさまざまな動植物の特徴と役割について学びました。



町内の2～6歳児を対象とした「森のようちえん」



町内の小学生を対象とした「森の楽校」

森林セラピー推進事業

【環境整備】

森林セラピー基地「ブナの森温身平」の機能と景観を保ち、訪れる方々が快適に森林セラピーを楽しめるよう、セラピーロードの環境整備を行いました。



セラピーロード環境整備の様子

森から拓く次代の生業づくり事業

【林業機械操作技術研修】

町民を対象に、刈払機に関する安全衛生教育研修を行いました。機械操作技術の向上と安全な使用方法について学ぶことで、町内の森林整備の促進に繋がるものと期待されます。



刈払機研修会の様子

白い森みらい創生事業

【産学官連携による地域木材の利用と木育の推進プロジェクト】

町の豊かな森林資源の活用や、幼少期からの木育の推進を目的に、産学官が連携して学生の演習、町民ワークショップなど様々な活動を実施しています。

町内の3歳児への家具の贈呈及び東北芸術工科大学プロダクトデザイン学科学生による来年度贈呈予定の家具のプレゼンテーションを行いました。



学生による家具のプレゼンテーション

家具の贈呈の様子

白い森づくり体験事業

【植林・森林体験学習】

町内小学生5年生を対象に、植林作業等の実演見学、植林及び伐倒体験を行い、森林資源の循環利用の必要性や意義を学びました。



植林した苗を背景に記念撮影

造林作業等の映像を見ながらの講座